

# こうほう ショッキング

Vol.62

Kōhō shocking



その だ ま す や  
園田益也さん

## ●プロフィール

56歳。上対馬町浜久須出身、在住。農林業を営む家庭の長男に生まれる。諫早農業高校農業土木科卒業後、広島県の道路公団に勤務し21歳の時に帰郷、父と共に椎茸栽培に力を注いだ。現在、対州海運上対馬営業所勤務。福岡には息子と娘、妻が住む。対馬では母と弟との3人暮らし。休みには九州内の山林ドライブや娘との九重登山を計画する一方、良い音を目指してスピーカーを自作するオーディオ好きでもある。

○中学卒業後、農業高校に進学されたきっかけは？

両親の後を継ぐため勇んで進学：というよりは、地元の先輩方がみんなこの高校に進学したので、後を追っかけて自分も小さい頃から「長男だから」と言われて育ちましたから、いざそれは実家に帰る時が来ると思いつながらも広島で就職しました。当時、対馬のしいたけ業は景気が良い時期でしたから、うちも規模拡大を目指すため、一緒にやろうと父から言われ、思っていたよりも早めに戻ることにになりました。それから16年間しいたけ栽培を手掛けてきましたが、中国産の影響などで価格が低迷したこともあり、転職しました。今はサラリーマンをしながら興味を持つて林業をしています。

○対馬の農林業の移り変わりをみてきて、思うところは？

しいたけや木材、魚など第一次産業は対馬にとって大切です。輸送コストの問題は、行政も補助してくれてはいますが、それ以上に価格の低迷が大きな問題でしょう。後継者にとっても悩ましい問題です。そんな中で

も、対馬の山は現在伐期を迎え、間伐できる頃になりました。対馬のヒノキ材は重宝され、欲しい人もいます。上手にアピールして、少しでも材価が上がるよう創意工夫が必要だと思えます。

○アイデアがあればお聞かせください。

対馬の素材はそれぞれ素晴らしい、でも宣伝力が足りないと思うんです。それに、流通に乗っても生産が追いつかないという話も聞きます。品目を絞って、みんなで作って大量安定供給を目指した方が良いのか、または少量多品目が良いのか：どちらが良いのでしょうか。

韓国では住宅の内装材や床材として、ヒノキ材の需要が上がってきているそうです。韓国はマンション住宅が主ですから、対馬ヒノキなど木材をふんだんに使った戸建住宅をアピールする住宅展示場を、プサンあたりにでも設けてはどうでしょうか？

○多趣味でいらっしやいますか、今後の夢や抱負は？

ある日、知人の家に行ったら対馬ヒノキのスピーカーがあったんです。これが音も良いが値

段も良い(笑)。それなら、これに負けない良い音のスピーカーを、安く作るぞ！って、あれこれ試しながら楽しんで作ってるんです。作ると言えば、スピーカーヤックをしたんですけど、自分の手でカヤックを作ってみたいですね。

あと、自分の家の山林でペンションがしたいんです。プライベートビーチのあるペンションのように、プライベート林のある施設を、遊歩道から自分の力で整備して開設したい。対馬は山だけでなく海も楽しめるロケーションが多いですから、自然をつまぐ利用していくべきだと思います。泊まりで自然を満喫できる施設を作ろう、そういう人があちこちに広がるといいなあ、と思ったりします。

思うことがたくさんで(笑)。でも、思っていたら何か叶う時がある。一つずつ実現させたいですね。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介いたたくこのコーナー。次回は上対馬町比田勝にお住まいの江藤幸治さんです。お楽しみに。